

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・部門によって若干のバラつきこそあるものの、全館売上は11月以降、コンスタントに前年売上高実績クリアを維持している。
		スーパー（販売企画担当）	競争相手の様子	・競合店の新規出店が盛んにあり、既存店では来客数の減少が起きている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・売上前年比103%、来客数前年比98%、たばこ売上は前年比120%、たばこ以外の売上は前年比97%と、このところ売上が固定化している。客単価も同様に推移しており、コンビニでの購買に関しては上限があると感じる。好天やイベントで客の流れが多くても単価はこれまでと変わらない。
		その他専門店 〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・観光客は野球のキャンプのお陰で、前年並みと感じられる。しかし買物客は前年より減少している。価格も競争で利益は減少している。もともと、売上は低迷しているなかで大きな落ち込み感はない。新都心の店舗は前年並みを維持できている。
		その他専門店 〔書籍〕（店長）	来客数の動き	・前年より若干ではあるが来客数は伸びているが、ここ3か月と比較すれば伸び悩みである。沖縄でのプロ野球キャンプにより、週末思うように売上が上がらなかったせいかと推測される。
		観光型ホテル （マーケティング担当）	販売量の動き	・今年は話題選手などで何かと白熱したプロ野球キャンプがあったが、直接的にホテルの稼働率が大きく伸びることなく、ほぼ前年並みであり、3か月前と同様の状況であった。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・前年とほぼ変わらない。スマートフォン人気はすごいものがある。
		住宅販売会社 （総務・企画分野）	来客数の動き	・直近3か月や前年同期と比べ、来場客数は増えているが、成約までの段階にはなかなか至らない。
やや悪く なっている		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数が前年より下回っている。
		旅行代理店（代表取締役）	競争相手の様子	・当社、他社共に、インバウンド、アウトバウンド含めての旅行企画商品の集客がかなり悪い。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・販売数が前年比8割程度で推移していたが、今月は更に落ち込むとみている。来客はあるが、料金の相談や故障受付などで、高額の出費になる購入を避けているようにみられる。売れ筋商品の供給が間に合っていないのも原因としてあるが、繁忙期である3月の前の静けさのような感もある。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、前年同月比で10%ほど落ち込んでいる。3か月前の11月は前年同月とほぼ同水準であった。この状況から、2月の入域観光客数は、大幅な落ち込みが予想される。来園者は、修学旅行、一般、団体等が中心である。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・インターネット予約などができるゴルフ場では、来客数は増加傾向ではあるが、当方ではその対応はしていないために、一般の旅行者のゴルファーの減少はみられる。ただし、旅行会社を通してのクーポン券の利用は変わっていない。インターネット利用の対応にすると、ゴルフプレイにそぐわない客を避けることができなため、信頼できる旅行会社からの送客だけは認める形を取っている。
		その他のサービス 〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・2月の貸出件数は、前年比で92%と厳しい状況である。観光客の利用が減っており、プロ野球キャンプ効果を期待していたが、前年、前々年を下回る貸出結果となった。
悪く なっている		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・原材料がじわじわと上がって、し好品は徹底した低価格志向に傾き、家飲み等で平日の若者の飲酒が減っている。法律の引締めが厳しくなって、労務管理の経費が20%以上増えている。近くの居酒屋が何件か潰れて、客が当方に流れてきて売上が上がっているという素直に喜べない状態もある。
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	通信業（営業担当）	取引先の様子	・受注案件の引き合いがある。契約等を含めた現地視察等が増えている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設会社の受注高は公共・民間とも前年を下回っている。新設住宅は分譲マンションは前年上回っているが戸建は減少している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築及び、リフォームとも受注件数が横ばい状態である。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・既存取引先の物流の見直しによる輸送コスト削減はまだまだ継続されており、新規の顧客拡大についても当然輸送コストの削減が主たる条件となることが多いので、物流業界としては厳しい状況が続いている。
		輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・久米島地区が落ち込んでいるが、その分を宮古地区でカバーしている。
やや悪くなっている				
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外共に求人数が増加傾向にある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新規依頼があるものの、契約終了もあり、数字の変化はあまり無い。
		人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・この時期になると、新規の派遣先からの問い合わせが例年はあるが、今年はいつもより少ないようである。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	採用者数の動き	・3か月前と比べて企業が求人広告にかけると金額はあまり変わっていない。採用者数自体もそれ程増えてはいない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求人数が増加しているが、求職者数も過去1年間で漸次増加しており、失業率の改善につなっていない。また、求人数の増加といっても、県、国の雇用対策としての支援制度活用の影響が顕著であり、依然として、会社都合による離職者が増加する傾向にある。
	やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-	